

保護者 様

川崎市立南原小学校
校長 平井 育子

児童用非常袋（自助袋）の用意について

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。
さて、毎年のように各地で大きな地震が発生したり、台風等により水害や土砂災害が発生したりしています。これらの災害から子どもたちを守るために、本校でも児童の安全に関わるガイドラインを一つずつ見直しているところです。

その中で、万が一お子様が何らかの理由で学校に留まることになった場合、児童の食糧の確保と児童の不安感を少しでも和らげるために、「児童用非常袋（自助袋）」の準備をお願いしたいと考えました。ご理解の上、ご協力をお願いいたします。



1. 袋について

封のできる透明な袋のLサイズに入れ、
大きくマジックで名前を書いてください。

2. 袋に入れるものについて（共通に用意するもの）

軍手	けが防止と寒さ対策のために使う
薄手の布（手ぬぐい）	けがした時に巻いたり、寒いとき首に巻いたりして使う
マスク(1～2枚)	ほこりが舞っている等の状況への対応と感染防止への対応として使う
カイロ（※）	※寒くて耐えられない時に使う。 (冬季に使用。今回は入れなくてもよい)
ウェットティッシュ	節水のため、手をふくために使う
ティッシュ	日常の様々な場面で活用する
食料	カロリーメイトやクッキーや乾パン、ドライフルーツなど保存できるもの。 1日分程度 ※点検時期まで保存できるもの
ばんそうこう（1～2枚）	傷を負った際に使用する。
不安を和らげるもの （必要であれば）	引き取りまでに時間がかかってしまうこともあるため、不安な気持ちを和らげるものを入れてください。（お守り、写真等）

※ 袋に入れたとき、**できるだけ厚みがでないよう**工夫して入れてください。

※ **袋が完全に閉まった状態**で保管できるよう注意してください。

※ 保管するもの**全てに記名**をお願いいたします。

3. 児童用非常袋（自助袋）の扱いについて

- 保管場所は、学年ごとコンテナに入れて、鍵のかかる場所で保管します。
- 年2回、家庭に、持ち帰り中身の点検をします。（7月夏休み前、3月学年末）

※今年度は3月のみ持ち帰ります

※少なくとも点検時期まで、消費期限が間に合うものを準備してください。

4. 非常袋の準備について

- 食料については、アレルギーの有無などを考慮して、お子さんと話し合いながらご準備ください。

夏休み明け、8月29日（木）にお子さんにもたせてください

何かご不明な点がありましたら、学校までお問い合わせください。☎044-866-0981 教頭（上関）